

令和6年1月18日

令和5年度 松山歯科衛生士専門学校
学校関係者評価委員会報告書

学校法人松山ビジネスカレッジ 松山歯科衛生士専門学校 学校関係者評価委員会は「令和5年度自己評価」結果を基に、学校関係者評価を行いました。その結果を以下のとおり報告いたします。

1. 令和5年度学校関係者評価委員会

委員 本山 英幸 (一般社団法人愛媛県歯科医師会 事務局参与)
唐崎 秀樹 (愛媛信用金庫 地域事業振興部推進役)
藤丸 藍子 (在校生保護者)
宮川 葵唯 (卒業生)

敬称略

教職員 松岡 由紀子 (学校法人松山ビジネスカレッジ 常務理事)
室 利幸 (松山歯科衛生士専門学校 校長)
重信 克也 (学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部長)
清水 綾 (松山歯科衛生士専門学校 副校長)
田坂 麻衣子 (学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部 教務課長)
東田 由美子 (学校法人松山ビジネスカレッジ 管理本部)

2. 実施内容

開会、出席者紹介、校長挨拶
自己評価報告 (1) 教育理念・目標
(2) 学校運営
(3) 教育活動
(4) 学修成果
(5) 学生支援
(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務
(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献
質疑応答、意見交換

3. 自己評価報告に関する補足説明

<教育活動>

- ・学校が掲げる理念、人材育成像、将来構想について周知を図りながら、将来歯科衛生士として社会的に担う役割を理解したうえで学生が主体的に学ぶ環境を整える。
- ・令和4年度から導入した新カリキュラムにより、国家試験について全員受験、全員合格を目指し実践的な教育を行っている。

<学修成果>

- ・歯科衛生士が歯科医院等の現場で不足している状況下、歯科衛生士の様々な活躍の場とやりがいについて学ぶ取り組みを行う。
- ・昨年度は不合格者を出したが、令和3年度国家試験合格率は100%を達成した。さらに介護職員初任者研修、歯科医療事務資格の合格率も100%を目指している。

<学生支援>

- ・就職に関しては、早い段階において100%達成している。
- ・卒業後の心配事や不安に対して、個別で相談に応じ、解消できるよう取り組んでいる。また、卒業後のキャリア相談、万が一離職した場合は希望により就職斡旋を行う。

4. 学校関係者評価（意見交換、質疑応答）

（委員からの意見）

- ・全国的に歯科衛生士が不足しているが、歯科医院運営には欠かせない存在である。潜在的に資格保有者は多数おり、歯科医師会では復職支援もしているので、ぜひ情報提供等協力して欲しい。
- ・同窓会を組織化して、離職した方に再チャレンジを促して欲しい。

（回答）

- ・全国的に直近5年間の離職率が50%程度という実態の中、現場についていけない・想像していた以上に難しいとの理由が多い。本校では社会人として通用する人材育成に努めており、就職後の離職率も低い。
- ・定期的な同窓会の開催の計画等は今後検討していく。

（委員からの意見）

- ・子供の頃から、学習に対するやる気と学校の雰囲気もよく解る。小さい頃から歯科医院の雰囲気が好きだったのが志望に繋がった。将来結婚しても、復職支援制度があれば役に立つと思う。

（回答）

- ・学業に意欲的な学生がいると、その学生に引っ張られて学年全体の士気も高まりよい傾向になっている。

(委員からの意見)

- ・将来歯科医院を転職するとして、現在就いている仕事内容から経験のない事をする場合、教えて貰える場はあるのか心配である。

(回答)

- ・歯科医師会の復職支援や、歯科衛生士会の研修会への参加も可能であり、また学校に相談に来てもらえば、情報提供等も行うことが出来る。

以上